

平成28年度 京都市要約筆記者認定試験 実施要項

厚生労働省の要約筆記者養成カリキュラム課程の修了者に対し、その知識及び技能を評価するため、京都市要約筆記者認定試験を実施する。

1 受験資格

次の(1)(2)のいずれかに該当し、且つ当試験に合格後は、京都市を通じて京都府要約筆記者として登録し、要約筆記者としての活動を希望する者

- (1) 京都市要約筆記者養成講座を修了した者
- (2) 平成28年度京都市要約筆記者講座を平成28年12月15日時点で修了している者

2 受験実施内容

- (1) 日 程 平成28年12月17日(土)及び12月18日(日)の2日間
パソコンでの受験者は12月17日(土)のみ

- (2) 実施内容 第1日(12月17日) 学科試験及び実技試験(パソコン)
第2日(12月18日) 実技試験(手書き)

(3) 会 場

	京都市会場(京都市聴覚言語障害センター)
12月17日	学科試験(パソコン・手書き共通)・実技試験(パソコン)
12月18日	実技試験(手書き)

(4) 試験方法

要約筆記者として必要な知識・技能について、学科試験及び実技試験を実施。
出題にあたっては、①学科試験は、四肢択一方式で行う。②実技試験は、音声による問題をロールまたはパソコンを使用し要約筆記をする。詳しい受験方法は受験票に同封する「受験のしおり」を参照のこと。

(5) 学科試験の免除者

前年度(平成27年度)に実施した当試験において合格基準を満たしている者は、当年度(平成28年度試験)の学科試験については、免除申請することができる。

(6) 出題基準等

ア 学科出題数（90分：計50問）

障害者福祉の基礎知識	5問
聴覚障害に関する基礎知識	10問
要約筆記（技術）について	10問
要約筆記のあり方	5問
国語（一般常識程度の漢字、慣用句、四文字熟語などのみ）	20問

イ 実技出題数（10分程度）

ウ 出題範囲

要約筆記者養成テキスト（上、下）（全国要約筆記問題研究会）
漢字検定 3級、4級テキスト（日本漢字能力検定協会）
ことわざ検定公式ガイドブック（ことわざ能力検定協会）
現代用語の基礎知識2015（自由国民社）
広辞苑

3 合格基準ならびに評価の内容

(1) 学科試験

総得点60%以上であること。

(2) 実技試験

問題を提示し、音声をロールまたはパソコンを使用して一人で要約筆記し、知識、技能及び資質を評価する。採点は、出題の内容が速く（話に追いついているか等）正確（情報や意図が正しく伝わるか等）に表出されているか否かの「正確さ」の評価、利用者に読みやすいものになっているか（誤字有無や訂正、要約筆記の表記のルール等）の「表記」の評価を併用して行う。

4 受験申込みの手続き等

(1) 受験申込受付期間 平成28年11月7日～22日（必着）

(2) 申込方法

受験申込書（別紙）に必要事項を記入し、返信用封筒2種類（①長3封筒②角2封筒に返信先の郵便番号・住所・氏名を記入し、①82円②140円切手を添付のこと）を同封して、次の宛先に申込むこと。

（宛先）

〒604-8437 京都市中京区西ノ京東中合町2番地
社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会
京都市聴覚言語障害センター 京都市要約筆記者試験 事務局
TEL (075) 841-8337 FAX (075) 841-8312

※①受験票、受験のしおり送付用、A4用紙が三つ折で入ること
②試験結果送付用、A4用紙が折り曲げずに入ること。

受験番号 ※

(注) 上記※には記入しない事

京都市要約筆記者認定試験 受験申込書

年 月 日
京都市長 様
申込者氏名 印

私は京都市要約筆記者試験を受験希望しますので次の通り申し込みます。

フリガナ 氏 名		写真を添付して ください (タテ4×ヨコ3センチ)
性 別	男 ・ 女	
生年月日	年 月 日 (才)	
住 所 (連絡先)	〒 (TEL・FAX — —) (携帯電話番号 — —)	
受験コース	1. 手書き 2. パソコン	
学科試験免除の有無	学科試験免除対象 無 ・ 有 (前年度 京都市要約筆記者試験において学科試験を合格 受験番号)	
受験資格	京都市要約筆記者養成講座を 年 修了・修了見込	
合格した場合の 活動地域		

- ボールペン又は万年筆(黒・青)を使用し、楷書で正確に記入し、訂正するときは、二重線を引きその上に訂正印を押してください(修正テープ等使用不可)。

